

令和3年2月3日

## 「日本遺産の日」記念シンポジウムの開催について

文化庁及び日本遺産連盟（※1）は、今後、さらに国民の皆様の「日本遺産」に対する理解と関心を高めるとともに、各地域における取り組みのより一層の充実を図るため、昨年度より、別紙1のとおり2月13日（※2）を「日本遺産の日」としました。

今年度も、新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底したうえで、「日本遺産の日」を記念したシンポジウムを下記のとおりオンラインにて開催しますので、お知らせします。

なお、昨年度実施した、日本遺産認定地域等によるPRブースや体験ブースの出展は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止等のため、今年度は行いません。

### 記

1. 日 時：令和3年2月13日（土）13：00～14：30

2. ライブ配信会場：東京国際フォーラム

視聴用 URL：<https://japan-heritage.bunka.go.jp/ja/special/sp210213.html>

※詳細は別紙2をご覧ください。

3. 取 材：フルオープン

※取材を希望される場合は、別紙3の申込用紙にて2月8日（月）までにメールでお申し込みください。

（※1）日本遺産連盟は、全国各地の日本遺産認定地域等から構成する団体であり、日本全国に点在する日本遺産のストーリーを国内外に向けて積極的に情報発信するなど、文化庁等とも連携しながら日本遺産のブランド力向上を図ることを目的に設立された団体です。

（※2）日本遺産は、地域の活性化として観光振興を推進することも主な目的としていることから、GWや夏休みの旅行先の候補選びに宣伝効果の高い時期である2月に絞り、親しみやすさ、覚えやすさから「にほん（2）いさん（13）」としました。

#### <担当>

文化庁参事官（文化観光担当）付

春田、中村、清水、溝田

電話：03-5253-4111（代表）（内線5046）

## 「日本遺産の日」に関する共同宣言

我が国には有形・無形の優れた文化財が各地に数多く存在しており、これらを活用して地域の活性化や観光振興を図るためには、地域が主体となって、魅力ある文化財群を総合的に整備・活用し、国内外へ積極的に発信していくことが重要です。

このため、地域の歴史的魅力や特色を通じて地域の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として認定し、ストーリーを語る上で不可欠な文化財群を総合的に活用する取り組みを平成27年から推進しているところです。

「日本遺産」の認定開始から5年目を迎え、これまでに83のストーリーが認定されるなど、「日本遺産」の取り組みは全国に広がりを見せており、また、文化財の活用を通じた地域の活性化や観光振興に関する成果も各地で現れつつあります。

文化庁及び日本遺産連盟は、今後、さらに国民の皆様の「日本遺産」に対する理解と関心を高めるとともに、各地域における取り組みのより一層の充実を図るため、2月13日を「日本遺産の日」とすることをここに宣言します。

令和元年12月13日  
文化庁  
日本遺産連盟







# 江戸庶民の信仰と行楽の地 ～巨大な木太刀を担いで「大山詣り」～

神奈川県（伊勢原市）

## ■ストーリー概要

大山詣りは、鳶などの職人たちが巨大な木太刀を江戸から担いで運び、滝で身を清めてから奉納と山頂を目指すといった、他に例をみない庶民参拝である。そうした姿は歌舞伎や浮世絵にとりあげられ、また手形が不要な小旅行であったことから人々の興味関心を引き起こし、江戸の人口が100万人の頃、年間20万人もの参拝者が訪れた。大山詣りは、今も先導師たちにより脈々と引き継がれている。首都近郊に残る豊かな自然とふれあいながら歴史を巡り、山頂から眼下に広がる景色を目にしたとき、大山にあこがれた先人の思いと満足を体感できる。



## ◆認定ストーリー88

# 霊気満山 高尾山 ～人々の祈りが紡ぐ桑都物語～

八王子市

## ■ストーリー概要

八王子は、養蚕や織物が盛んだったことから「桑都」と称されました。甲州道中最大の宿場町となり、さまざまな文化を育みながら発展してきたまちの礎は、戦国時代末期に関東の覇権を握った北条氏の名将・北条氏照が、城下町を築いたことに遡ります。桑都の発展を支えた養蚕農家や絹商人は、氏照が武運を祈願し、いにしえより人々が霊山として崇めてきた高尾山を信仰し、大切に護ってきました。高尾山では、今も人々の祈りとともに、江戸時代に花開いた桑都の伝統文化が連綿と受け継がれています。



火渡り祭

◆日本遺産認定ストーリーの詳細は、日本遺産ポータルサイトをご覧ください

<https://japan-heritage.bunka.go.jp/>



## Talk Session トークセッション登壇者

多方面で活躍されているゲストの皆様は、日本遺産の魅力についてお話を伺います。



舞踊家  
花柳源九郎

1981年奈良県出身。2003年東京芸術大学卒業。華やかで力強い芸風が持ち味で、将来を嘱望される実力派。2007年文部科学大臣奨励賞、2013年舞踊批評家協会新人賞受賞。



マンガ家  
里中満智子

1964年「ピアの肖像」で第1回講談社新人漫画賞を受賞しプロデビュー。代表作「天上の虹」「アリエスの乙女たち」など、子供ものから大人ものまで幅広い作品を発表している。



日本遺産大使  
マーティ・フリードマン

アメリカワシントンD.C.生まれ。1990年「MEGADETH(メガデス)」加入。世界中に熱狂的なファンを持つスーパー・ギタリスト。現在は、音楽業界だけに留まらず、マルチ・アーティストとして活動している。



株式会社近畿日本ツーリストコーポレートビジネス第5営業支店 宛

(E-mail : japanheritage@or.knt.co.jp、TEL : 03-6891-9305)

## 日本遺産の日記念シンポジウム 取材申込書

令和3年2月8日(月) 必着

項目	記入事項
ふりがな 1 代表者氏名	※参加人数 ( ) 名
2 御所属	
3 所属種別	<input type="checkbox"/> メディア関係(テレビ、新聞、出版、その他( )) <input type="checkbox"/> 旅行会社 <input type="checkbox"/> バス・鉄道・航空会社 <input type="checkbox"/> その他( )
4 御連絡先 (TEL 又は E-mail)	
5 御住所	※都道府県市区町村まで

※本申込書に記載された個人情報は、本イベントの参加者の把握及び緊急連絡先のみを目的として使用し、厳重に取扱うものとします。

※複数人申し込まれる場合は、代表者が人数分お申し込みください。

※参加費は無料です。

【問合せ先】株式会社近畿日本ツーリストコーポレートビジネス  
第5営業支店 担当：杉山  
TEL 03-6891-9305